

【ロシアゲートの無罪が確定したトランプ大統領】

⇒編集後記で

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX新案件】

FXで年収3000万円、5000万円はこんなにカンタン！？
99%の人が知らない、FXで稼ぐために必要な「あるモノ」とは？
⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/50/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

どうもゆうです！

こんにちは！

さてさて、この数年注目されてきたトランプ大統領が

軍産官僚達に嵌められてきた

「ロシアゲート」の問題ですが、

これはもうメディアでも多く取り上げられているので

多くの方がご存知でしょうが、

ようやくトランプの無罪が確定してきました。

ご存知のようにもう世界のマスコミがまさに

反軍産官僚、反アメリカ帝国覇権で動くトランプ大統領を

つぶそうと

「ロシアとトランプが共謀している」と

嘘を流して、それでトランプつぶしをしようとしてきた

わけですが

彼らマスコミからしたら嫌なシナリオ、

「トランプの無罪」がほぼ確定済みです。

そしてトランプはいよいよこれからさらに

「ハッスル」できます。

今日はその辺の背景を考えます！

編集後記で！



【教え子：「初回から破竹の15連勝で165pips取れました。」】



さて、この前から開始しているこちらの

熱血先生ことFX KATSUさんの案件ですが

かなり人気ですね～～

ちなみに登録した人には4月最初あたりから

かなり色々と無料で学べるコンテンツなどが

送られてくる予定ということですね～～

FXでKATSUさんが

年収3000万円、5000万円と達成したその方法などを

教えてくれるでしょうから是非ご覧くださいね～

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/50/>

さて、それでこのFX KATSUさんですが

特徴として

多くの生徒さんをこの数年で育ててきたところが

ありますよね。

まあ先生がすごいというのもそうだけど

それ以上に生徒さんが稼いでるかどうかってのも

大事な要素ですよ。

それで

生徒さんたちでFX KATSUさんから

トレードを学んで稼げるようになったという方は

かなり多くて、

以下のような声があるんですね～～

(KATSUさんの生徒の声)

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【初回から破竹の 15 連勝で 165pips 取れました！】

トレードのチャンスが多いのと、勝率が高いのと、
ポジションの保有時間が短いのが良かったです。

ポジションの保有時間が長いということは、
それだけリスクにさらされています。

なので、ここ最近の相場状況では特に超短期で
利確できることが非常に嬉しいです。

もっと秒速スキャルに慣れれば、自信ついてくるので、
ロットを上げることができます。

FX は pips 獲得の競争ではありません。

不安定な 30pips より、確実に勝てる 10pips の方が
価値が何倍もあると思っています。

自分はオシレーター系のインジケーターが
あまり好きではありませんでした。

しかし、秒速でスキャルをして、ポンポンと
10pips 前後を取る方法がそれであるならば、

それに従うしかありませんでした。

そしたら思いのほか順調に利益が取れ、
結構有効性があることを知り、
もっとロジックの深い部分まで知りたいと思うようになりました。

まずは勝ち組トレーダーとなり、
安定して稼げるようになるように頑張ります。

=====

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/50/>

【11勝3敗、過去最高の勝率です！】

豊田さん

ロジックがシンプルでわかりやすい。

高い勝率でトレードできる。
スキャルピングなので短時間のトレードでよいこと。

スキャルピングは難しいイメージがありました。

さらに1分足でトレードするというのも難しく感じていました。

しかし、実際手に取ってみるとロジックが
わかりやすのでよかったです。

katsu先生の解説も丁寧でとても分かりやすいです。

何回かトレードしてみましたが高い勝率が実現できています。

14回トレードして11勝3敗でした。

いままでにこのような勝率を実現したことはありませんでした。

ただ動画で説明されていた通りにトレードして
高勝率なトレードができました。

1分足のスキャルピングなので、
エントリーしてから決裁するまでの
時間が短くできるのもよいところだと思います。

いままではスイングトレードを中心にトレードしていました。

スイングではポジションの保有が長くなるので、
その間何か起こるのではないかと不安になることもありました。

また、スイングの場合、エントリーチャンスを一度逃してしまうと
次のチャンスまでに長い時間待たなければならないこともありました。

1分足スキャルピングでは、ポジションの保有時間が短くなり、
また、エントリーチャンスを逃してもすぐに
次のチャンスがくるところもとてもよいです。

いままでの悩みが解決できそうです。

勝率が高いトレードができるとストレスが少なく、
トレードするのも楽しくなるのがとてもよいです。

=====

【1週間で1万6000円の利益！】

森野さん

**PIPSではなくロットをあげて本当に瞬間利確で
ストレスフリーなトレードができる点。**

**FX-Katsu先生が本格的に講師デビューするということもあり、
注目していました。**

**特にトレードバトル動画を見て負けたとはいえ
10戦10連勝したのには驚き、ぜひ学びたいと思いました。**

**いままでFXDDを使ってましたが、
現在スプレッドの低い国内証券の外為ファイネストに
資金を移動中でデモトレードしましたが、
本当に勝ちやすいロジックであると実感しました。**

これからも裁量スキルをみがき、

最終的には自分独自のロジックを編み出せればと思います。

9戦7勝！すぐ利益になるのがいい！

=====

馬場さん

エントリーから決済までの時間が短いこと、
勝率が高いことが良い点だと思います。

FX-Katsu 先生は FX ビギナーズチャンネルで知り、
FX のことをいろいろ教えていただいていたので
FX-Katsu 先生のロジックは前々から勉強したいと思っていました。

今回参加できて本当によかったです。

=====

【1週間で82Pips稼ぎました。】

栗田さん

1週間で82Pips稼ぎました。

これだけ稼げたのは初めてです。

ストレスが無いことと、
エントリーするタイミングがはっきり分かること。

そして、勝率が良い。

発売される以前の動画で、
なんとなくこれを求めていたのかも知れないなと感じました。

FXを初めて間もない頃、早朝5:30くらいにトレードして、
逆張りエントリーで勝率70~80%ほど維持していた経験があります。

出勤前に3~5千円程度稼ぐという日々でした。

結局、眠さに勝てず他の方法を探して勝てなくなりました。

Katsu先生のロジックは他のロジックとは違い、とにかく分かりやすい。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/50/>

=====

【1週間で約7万円の利確です！】

杉本さん

日々仕事に追われている会社員であり、
そんな中でも隙間時間で取引可能なロジックで
勝率も高いので非常に感謝しております。

最近では仕事の関係上、
なかなかチャートに向き合うことができず、
スキルアップどころかトレード回数が少ないという点で悩んでおり、
最少ロットでのスイングトレードを行ったりしていましたが、
利益確定しても勝率は高くても利益率はそれほどでもなく、
満足いく結果を得られないといったことで、
不満とストレスを感じる日々を過ごしておりました。

この教材を知ってさっそく購入してロジックを学び、取引を行ったところ、
ゲーム感覚で楽しみながらトレードを行っている自分がいることに気づき、
感謝の気持ちでいっぱいです。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/50/>

=====

【ロジック、コンテンツがわかりやすい！】

広川修司さん

一ヶ月で勝率 50%でまだまだです。

ロジックが分かり易い、コンテンツがわかりやすい

Katsu 先生の成功してもらいたいとの情熱を感じます。

自分も絶対成功してやると再度決意します。

=====

【Katsu 先生の熱意が伝わり良かった！】

藤森健司さん

短い時間での決済を目指しているところ。

Katsu 先生の熱意が伝わる講義内容。

この教材を手にしてみて、未だ学習中ではありますが、
Katsu先生の熱意が伝わり良かったと思います。

講義内容もこのロジック云々だけでなく、
相場に対する考え方として「なるほど」と思える点も多く、
他の教材にも取り入れて考えることで利益を上げていけそうな感じがする
点が多く、
手にしてみて良かったと思います。

これからも宜しくお願い致します。

=====

【199pipsで25000円!】

上田武さん

199pipsで25000円、2週間での利益です。
波があるのでトレンド方向へのエントリーに気をつけています。

短期売買で好きなときにできるので
ポジポジ病を改善しました。

思ったよりエントリー回数が多いので、
好きなときに売買できて楽しいです。

定期的にメールがおくられてくるので楽しみにしています。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/50/>

=====

以上です！

それでKATSUさんの教材なんだけど

結構多くの生徒さんなりKATSUさんを知ってる人が

言う台詞があってそれが

「ゲームみたい」って言う言葉ですよ。

「ゲームをやってるみたいにトレードで稼ぐ」

これがFX KATSUさんのトレードの特徴かも

しれません。

いわゆるトレード・投資の世界ってのは金融戦争ですから

どうしてもゲームっていうか

戦いの要素もあつたりしますが

KATSUさんのやり方は「ゲームに近い」みたいな

言い方をする人が多いんですね。

それをもしあなたが知ってみたいようでしたら

ぜひ4月から色々説明してくれるそうなので

ごらんくださいね～

【ゲームみたいに稼ぐ】

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/50/>

ちなみにこのゲームみたいだ、っていうのは

推薦の声でも言われていて

年連続8000PIPS

年間6000万円を稼ぐトレーダーの

ダイスケさんは以下のように言ってます。

「僕は彼のことを最も信用できる男の一人だと思っています。

長年一緒に仕事をしてきましたが、ここまで情熱を持って、
投資教育に邁進できる人もなかなかいないし、
何より会員さんのことを第一に考えてプライベートも犠牲にできる男です。

トレードをやっているとは聞いていたのですが、
1分足ロジックで利益を上げているところを見せてもらったときは、
椅子から転げ落ちそうになりましたね。

短い時間で、3連続コンボ、4連続コンボと、
次々に利益をあげている様子を見て、

「こりゃゲームかよ」

と、思いました（笑）

僕はスイングトレードをメインにしていますが、
短い時間足で、
たくさんのチャンスを楽しくゲームのように、

狙っていきたい人には、
彼の1分足スキャルロジックはおすすめだと思います。」

以上です。

ということでやはり「ゲームかよ」という突っ込みが

出るような感じのようですが

ゲームのように稼ぐ、これがFX KATSUさんの

姿勢では大事なのかもしれませんね～

【ゲームみたいに稼ぐ】

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/50/>

それでこのFX KATSUさんのやり方としては

ダウ理論をよく使うのですが

そこでダウ理論の考え方で「ゾーン」を水平、横の世界観で

取るってのが特徴的ですよね。

基本的に大きな1分足より大きな時間足で1時間足なんかで

ゾーンを見つけていくんだけど

その中で1分足で仕掛けていく

ってことをこのFX KATSUさんはよくします。

ちなみにそこで使われるダウ理論の内容ってのは

「ダウ理論：トレンドは明確なシグナルが

発生するまでは継続する」

ですよね。

例えば1時間足でトレンドは継続すると

ダウ理論で想定できる場合、

その場合には1分足でもそっちの方向性に合わせて

KATSUさんなんかはシグナルを絞っていく

わけですが

これは当然ダウ理論の考え方として

勝率が高くなる考え方ですよ。

マルチタイムフレーム分析とか言ったりもします。

それでKATSUさんの場合は

もう少し一歩進んで

「「ダウ理論：トレンドは明確なシグナルが

発生するまでは継続する」なんだから

結局「このあたりのゾーンで価格は動く可能性が高い」

ってことだろ??」

ってことでゾーンをダウ理論ベースで作って

それで仕掛けるってことを得意としておりますよね。

それで1分足なのでゲームっぽさが出てるってのが

KATSUさんのやり方です。

それなのでFXの基礎から学べるので

また基本的に動画の講義になりますので

かなり分かりやすいと思いますので

またKATSUさんなんかもダウ理論ベースの

トレーダーで

特徴としては大きな足で「ゾーン」を作成して

その中で戦っていくトレーダーさんですけど

なかなか機能する方法を持ってる方なので

是非あなたも学んで、また検証なり

してみてくださいね～

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX新案件】

FXで年収3000万円、5000万円はこんなにカンタン!?

99%の人が知らない、FXで稼ぐために必要な「あるモノ」とは?

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/50/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

＝＝＝＝＝＝＝＝＝編集後記＝＝＝＝＝＝＝＝＝

さてさて、トランプ大統領にとっては冤罪であった

「ロシアゲート」問題が、

事実上この前終わりました。

ちなみにロシアゲート問題というのは

トランプ大統領がロシアのスパイではないか、

ロシアの諜報機関が2016年のアメリカ大統領選挙で

ニセ情報をネットで流してアメリカ国民をだまして

トランプを勝たせた、

みたいなそういう問題であったわけですが

ここで世界のマスコミがロシアゲート問題をでっちあげて

トランプをつぶそうしておりました。

しかし今月3月24日にアメリカのウィリアムバー司法長官が

トランプの無罪を認める文書を議会に送りまして、

そしてトランプは無罪ってことで事実上、

ロシアゲート問題は終わりましたね。

ちなみに2016年の選挙で

軍産官僚の代表であるヒラリーを勝たせるために

マスコミやグーグルなどの検索エンジンが結託して

ニセ情報を流してきたわけで

「ヒラリー勝利確定！」ってのは多くの人が

当時見た報道だったけど、

本当に問題なのは主流メディアのほうであった

ってのはみんな薄々気づいてるんです。

当時はむしろトランプに不利な報道が相次いでいたことが

事実でしたが

ここで自分たち軍産官僚の代表のヒラリーが負けたものだから

「トランプは不正をした」ってことでやったのが

彼らマスコミやグーグルなんかの多国籍企業でしたが、

結果・・・

2017年から2年間にかけて行われた

ミュラー特別捜査官のロシアゲート捜査が

3月22日に終了、そして最終報告書が

司法長官に提出されて、

そしてトランプの無罪を認める文書を

司法長官が送り、事実上終わりました。

ちなみに報告書ではロシアゲートに関しては

トランプ陣営の中で、起訴すべき人はいなかった

と結論づけていて

報告書は「ロシアゲートはトランプ陣営に対する

濡れ衣であった」

と認めるものです。

それでロシアゲートに関しては

官僚やマスコミが推していたヒラリークリントンが

敗北して、

そして「トランプはロシアと共謀してアメリカの

選挙を不正操作した」

ってことになったわけですが

ここでトランプは「なに言ってるんだ、

お前らの推してるヒラリーが負けたからといって

俺に濡れ衣を着させるな」

ってことでトランプは当初から否定していました。

ただそれでも、軍産官僚ってのは今まで強く、
諜報や外交界やマスコミ権威筋を支配してますから

そこでロシアゲートのでっちあげ騒動が
長くこの2年間続いていたわけですね。

ただロシアゲート問題ってのはくだらなすぎて
もう冤罪は明らかなものでありましたが

そこでマスコミなんかは「トランプは推定有罪」

という感じで報道していました。

ちなみにこの「推定有罪」っていう言葉は田中宇先生が

書かれていて良い言葉だと思ったのだけど

通常は近代デモクラシーの司法では「推定無罪」であります

これは世界の「マスコミやネット検索エンジンの

プロパガンダ」として

「推定有罪」で動くようになってるわけですね。

司法を骨抜きにして、それでマスコミや軍産官僚たちの

「情報プロパガンダ」で司法の結果は関係なしに

あることないこと、報道してつぶしてしまう、と。

それは日本でも芸能人に対してよくそういう

「推定有罪」報道がされていますが

司法で結果が出る前にマスコミがあることないこと

言いまくってつぶすってのは

例えばピエール瀧さんの話でも見ていて分かると思います。

ある種の魔女狩りみたいになってしまってるわけですね。

ただロシアゲートってのはどうみても根拠が

薄くて、

イギリスの諜報機関のMI 6のスパイである

クリストファー・スティールが作成した

「スティール報告書」

ってのが一番の根拠とされていたわけです。

ただこのスティール報告書ってのはM I 6 事態が

そもそも軍産官僚の一部でありまして

捏造の類であって、

例えばトランプ陣営とロシア側がいつどうやって接触したか？

みたいな内容のメモ類の束があったけど

これは書かれてることの情報源が匿名ばかりで

非常に曖昧であったと。

それでさらにこのスティー爾報告書自体が

トランプを敵と見なしている英国諜報機関のM I 6の

ものであってC I Aと同じで

トランプを敵視してるところからの報告書だったわけですね。

まあ、説得力弱いですね。

アメリカの選挙に介入してるのは

ロシアじゃなくてイギリスでしょ、っていう話になりますが

さらに分かってきたのがこのロシアゲート疑惑に

つながるスティール報告書の作成費用を出したのが

なんとヒラリークリントン陣営だったわけです。

これはもうマスコミさえもアメリカでは認めている。

ということは、結局「不正操作をしてヒラリーを勝たせるはず」

だったのにそれが通用しないでトランプが勝利してしまって、

それでこれをつぶすためにヒラリー陣営が

MI 6 と組んでロシアゲート事件をでっちあげて

それでトランプを攻撃していたってのが

かなり真相に近い部分でしょう。

だからロシアがトランプと組んでアメリカ人をだましたのではなく

イギリスの諜報機関M I 6とヒラリーが組んで

アメリカ人たちをだまして、

そしてそれをロシアとトランプのせいにしていた、

つてのがもう多くのアメリカ人たちに見破られつつある。

ただこれは以前にもメルマガで扱ってましたが

よーく見ると誰でもわかる構図なんですね。

そしてもちろん、報道する側のアメリカや日本の

マスコミもその ロシアゲート疑惑のおかしさは

理解してる、のです。

けどこれを無視して書かないで、

トランプをロシアのスパイとして報道してきたのが

米日含む世界のメディアですが

そして最近はそのメディアにはテレビ新聞だけではなく

大手のネット会社たち、グーグルなんかも含みますが

彼らは濡れ衣報道をずっと続けてきたわけです。

さて、それで今回のトランプのロシアゲート無罪が

確定したことを受けて、

いよいよ、世界のマスコミ、および、

ネットの大手メディアたちへの疑義が強まるってこと

ですよね。

「そもそもおかしい報道をしていたのは

マスコミたちではなかったか」

といよいよ彼らが攻撃される段階に入ってくる。

それでトランプ政権は最初の2年間は大変で

このようなロシアゲート事件とかでつちあげられて

とにかく攻撃されていました。

ただ2018年11月には中間選挙でトランプが

実質的には上院押さえましたが

ここでメルマガでも「トランプはさらにハッスル」

という内容をよく書いてました。

それで一気にあの後トランプが強くなったんですね。

ちなみに日本のメディアなんかでは

「トランプが中間選挙で敗北」なんて書いていたけど

それは嘘だ、と。

11月に書きました。

PDF【「トランプ大統領が中間選挙では明確に勝利した」のに
マスコミと大手ネットニュースは嘘を大本営発表している】
http://fxgod.net/pdf/trump_win_fakemedia.pdf

実際に見ていただいて分かるように

トランプはそのあともかなり力を増してますし

またロシアゲート問題も無罪となっております。

当時トランプが負けたってことを材料で売りで買った

おそらくソロスなんかのファンドたちは

大きな損失を抱えた可能性が高いでしょう。

それでトランプは強くなった後の年末に

シリアからの米軍撤退も実現させましたが

同時期に軍産官僚の犬であったセッションズ司法長官を

ようやく辞めさせられて、

トランプ支持の司法省たたきあげのウィリアム・バーを

指名しました。

このバーはパパブッシュ時代にイラクゲート疑惑を

払拭したりの実績がありました

そこで議会で軍産官僚たちはその承認を問題とは

しましたが

今はトランプが「強い」ので、そこで

2月14日にバーが司法長官になって、

それでミュラーに捜査終わらせて

ロシアゲート事件終了、無罪で終わり、となりました。

だからどう判断してもトランプの勝ちです。

ちなみに米日マスコミはそれでも悔しいようで

「まだまだロシアゲートは終わっていない！」とか

言うわけですが

トランプの捜査妨害なんかも言ってるわけですが

これも単にトランプ陣営は捜査妨害ではなく

冤罪を晴らす努力をしてきただけで

やはり無罪と。

それでここでもう「力関係の大きな変化」

が2019年3月時に出てきていまして、

今までは

軍産官僚が トランプを攻撃する

という構図で2年間やってきたわけですが

今は違って、トランプ陣営が ロシアゲートのでっちあげを

批判して軍産官僚を批判していく

流れになってきてます。

特にこのロシアゲートのでっち上げに

ヒラリークリントン、オバマがかかわってるってのが

分かってきて

ばりばりリバータリアンのランドポール議員なんかは

「オバマ政権や民主党の徹底調査をするぞ」

と一気に攻撃に転じてます。

ちなみにこのトランプを無罪と断定した

ミュラー報告書はかなり重要な報告書で

民主党としては「早く公開してほしい」のですね。

もうこれが公開されれば、

ロシアゲート疑惑は「過去のもの」になるので

忘れてほしい、人々に。

が、トランプたちはそれをさせないで

「まだミュラー報告書は公開しないよ。

まずはロシアゲートの冤罪の構図をもっと調査する。

一体 だれが それを作ったのか徹底調査すべきだ」

とやってるわけですね。

ここで一気に

「ロシアゲートの冤罪疑惑」に

良識あるアメリカ人たちの焦点は、当たっている。

すなわち今までの「**推定有罪報道**」についての

正当な疑問ってのが多くの人にあったわけですが

これにトランプたちが注目させるように動いている。

ということは・・・アメリカで起こったことは

日本でいずれ起こるから

私が以前から書いてる

「近代デモクラシーにおいて

裁判が終わるまで犯罪者はいません」

「だから今の警察が芸能人なりを逮捕するだけで

血祭りにあげるマスコミの報道は魔女狩りでおかしい」

っていうこの主張ですが

この主張は徐々に日本でもされていくってことです。

アメリカだけではなく日本でもこの

「魔女狩り報道」は徐々に民衆からの圧力がかかることが

想定されますね。

それで今まで「ロシアゲート」ってのはトランプが

犯罪者に冤罪的に仕立て上げられるものでしたが

それが濡れ衣だと分かってきた今は

「じゃあ一体誰が濡れ衣をかぶせたのか」

って話で注目されていて

それでこれからクリントン、オバマ政権および

アメリカに巣食う軍産複合体や諜報なんかの

軍産官僚、軍産エスタブ勢力が

トランプをつぶそうとしてきたこと自体が

大きな問題になっていきそうです。

それでこの大きな流れを受けて

実は最近グーグルなんかもその一味であったから

以前の「カリスマ性」がなくなってますね。

これはまあグーグルの地図問題なんかも最近は言われていますが

そこで軍産官僚と談合してきた G A F A という多国籍企業にも

民衆の疑いの目が向いている。

私はメルマガでこの軍産官僚と多国籍企業の支配体制の問題を

ずっと書いてきた人なので

トランプが何したいかもよく分かるのだけど

私としてはそれなので今のこの軍産官僚も、G A F A も

徐々に追い込まれてる流れは相当注目してます。

それで、もうアメリカ民主党内の議員たちも

この大きな流れの変化に気づいていて

民主党内も分裂しはじめてる。

今まではアメリカ民主党ってのは軍産官僚たちの

犬であった中道派がメインでした。

ヒラリーたちを支持していた人たちで構成される。

しかしここで本格的な左派が最近強くなっていて

彼らは軍産敵視の人です。

それで今までの民主党ってのは

軍産の犬たちが中心だったのですが

最近アメリカ民主党の中ではこの軍産の犬たちが

どんどん軍産官僚が弱体化する中で権限を落としてるので

徐々にこの反軍産複合体の左派が強くなっている。

以前扱ったエリザベス・ウォーレンなんかは

トランプ大統領の シリアからの米軍撤退について

マスコミは反対するけどそれは良いことだと。

ちゃんと認めた。

ということはこれから民主党の中心であった

軍産官僚の犬たちはどんどん力を落としていき、

そして本格的な軍産官僚敵視の

左派が強くなるってことですね。

となると共和党はトランプに代表される

反軍産官僚の勢力が優勢

民主党も同じくエリザベスウォーレンのような

反軍産官僚勢力が優勢となりますから

すなわちこれからどっちに転んでも軍産官僚は

力を落としていくわけです。

ちなみにここで気づく人は多いだろうけど

いまや「党」の枠組みを超えて

政治は動いてるわけで

実は民主党の反軍さんの台頭してきた左派と、

共和党の反軍さんのトランプたちってのは

実は背後で結託してる可能性が高いですね。

民主党は極左、

共和党は極右の構図で

ここで中道を気取っていた軍産官僚達を

左右合同してつぶす、という動きが見えてくるわけです。

となるとこれからアメリカ帝国覇権はさらに

放棄されていくし、

また世界中から米軍は撤退する流れは

加速するといえますね。

またもう今はトランプたちと軍産官僚たちでは

力関係が圧倒的にトランプ優勢であるのが実情と

分析できますから、

となると「軍さんたちがスパイでアメリカ人たちを

嘘報道で扇動してきた」

って事実をトランプたちがあえて言わないであげて

それで恩を売るなんかの戦略も取れるようになります。

ということはやはりトランプ再選確率が極めて高い

ってことでして、

となるとトランプの人気取りの株価高値維持策は

再選あたりには継続してる可能性が極めて高い現状ですよね。

だからこの政治バランスを見ていたら2020年くらいには

NYダウがなんだかんだ高値更新するシナリオは

想定しておきたいとなります。

それでトランプなんかは今は軍産官僚との関係において

「もう、君たちの扇動報道やプロパガンダの証拠も

おさえてるから

それをいつでも世間に公表してもいいんだよ」

っていう感じの取引、ディールができるようになってるので

これから軍産官僚達はトランプたちの政策に

文句が言えなくなってくる可能性が高いわけですね。

なので米朝国交正常化に向けてやはり動きは進んでいくでしょうし

その前に アメリカ抜きでアジア同士で北朝鮮問題を

解決していきましようって流れは進んでいく可能性が高い。

この前米朝首脳会談でマスコミたちが

「破談だ、破談だ」と嘘を報道していて

それを私はメルマガで扱ったけど

これからなんだかんだ融和は進んでいくって話を扱ったけど

やはり最近 トランプがその方向で動いてますよね？

なので、これから軍産官僚達の権限が大きく落ちてるので

トランプたちの「想定するシナリオ」通りに

国際政治を動かしやすいようになってるってことです。

あとはここでもう少し突っ込んで解釈すると

「諜報機関内部でも思想対立」が起こっていたといえるわけで

やはり今の対立軸は

- 1 「アメリカが帝国化していくのを放棄していく勢力」
(世界が多極的に発展していくのを擁護する人たち)

と

- 2 「アメリカがこれからも帝国でドルも世界機軸通貨のままで」

という軍産勢力の戦いなんだけど

諜報機関の中でも本当は思想は1なんだけど

2を表面上装って内部から

2を破壊する勢力ってのもおそらくいるんでしょう。

諜報ってのは戦争ですから。

本当に内部から侵入して壊す。

というのがあの「スティーラー報告書」であって

匿名であるしぜんぜん説得力ないし、

かなり稚拙なものであったわけです。

あれが本当にしっかりしたものであったら

トランプたちも相当追い込まれていただろうけど

相当稚拙なものであったわけで、

となると内部からあえてあの稚拙な報告書を

取り上げるように圧力をかけた諜報機関の人間は

いたはずで、

表向きは2の軍産側にいるように振舞ってるけど

本音ではアメリカ帝国覇権がつぶれるように

振舞ってる1の思想、

そういう諜報機関の人らも内部で暗躍してただろうってのは

分かってきますね。

日本ではまだ諜報機関、インテリジェンスってのが

どれくらい世界に影響を与えてるのか？という

学問が確立されておらず

ようやく最近は大学に「インテリジェンス」という学問も

一部の私大で取り入れられたものの

まだまだです。

ただやはり諜報の分野で政治は動いてるので

それは報道には出てこないなのでこの辺も

理解できる力はこれから大事ですね。

ちなみに「プロパガンダ」の視点をよくメルマガで

扱うけど

この「プロパガンダ」が分かると諜報のやりたい

誘導したい方向性ってのも分かるようになってきますね。

ということで現状見るにやはりトランプが優勢となります。

それでトランプは世界から米軍を撤退させる考え方、

また、長期的に米ドルの機軸性を放棄していく考え方

そして世界の今までアメリカ帝国があって発展できなかった

地域で中間層が誕生して彼らが旺盛に消費していく未来を

想定してる考え方

なので基本的に世界はその流れで動いていくってことですね。

それで2020年代、トランプは人気取りの株価オペレーションも

なんだかんだしやすい環境になってきており

2020年代はやはり順当にトランプが再選される可能性が極めて高い状態

といえます。

ということで、過去の米国大統領でここまで

反軍産の立場で軍産に優位な状態を作り上げたのは

トランプ大統領以外おりませんから、

例えば J F ケネディなんかは暗殺されちゃいましたが

そういう意味でトランプ大統領は冷静に見ると

すごいですね。

彼もおそらくアメリカの帝国覇権を放棄していく

多極派のエージェントでそのトップは今はキッシンジャーあたりと

思われますが

やはり今、彼らは強いといえます。

(ちなみにバックがキッシンジャーの日本政治家でぱつと

思い浮かぶのは小沢一郎さん。)

ということでこれからもより強かに

トランプ劇場が続いていきそうです。

そして、やはりトランプがここまで強いんですから

長期では米軍は極東アジアからも撤退する流れは

不可避ですね。

また戦後好き勝手できた日本のマスコミによる

プロパガンダ報道も機能しなくなる可能性は高く、

アメリカのこの反軍産官僚の動きは日本にも

波及していくことが近年中に想定できまして、

そこで覚醒する日本人は若者中心に多く出るでしょうから

そこで日本もやはり注目の国となります。

ということで日本の公務員天国状態なんかも

今まで随分長かったけど

時限性で、そろそろ本格的におかしさを議論する

流れが2020年代初旬には出てくると見えます。

これから世界のルールが大きく変化しますね。

それでは！

ゆう

追伸・・・ちなみにトランプの上がキッシンジャーですが

キッシンジャー思想ってのは

まさに「大きな帝国が一国で支配していると経済効率性が失われるから

各地域で経済国が出てきて消費すればいい」

ですが

それはもう少し小さな一国の経済体制にも応用されていきます。

例えば日本では大企業が中心となって

下請け、孫請けで非正規たちが働いて経済生産する体制だけど

これも見直されてきて

やはり中小や小さな個人が経済で活躍する体制、

彼らの価値生産力があって、それでGDP作るみたいな

体制が模索されだすといえる。

となるとやはり日本でこれからの主役はやはり

起業家や投資家であります。

なので「自分で稼ぎましょう」って流れは世界の大きなマクロの流れで

必然的に出てきたものですね。

なので自分で稼ぐを追い求める個人の姿ってのは

時代の変化・トレンドの変化に適用する流れともいえまして、

一方大企業に入って安心っていう考え方は

本当に過去のものなんで、

トレンドに逆らってる逆張りだ、といえますから

この思想に沿って生きてる大半が追い込まれます。

一方、トレンドの変化に対応する個人で稼ごうと学ぶ人たちは

なんだかんだ生き残って、

彼らがこれからの社会の主役になっていくってことですね。

ただ官僚達はこの大企業支配が崩れると

結託してる自分たちも困りますから

やはり新規の若い個人たちをつぶしたい、と動いてるわけです。

が、それも時代の大きなダイナミズムに反してるから

そろそろ効かなくなるでしょう。

これはどういうことか？ というと昔はホリエモンみたいな

若い20代の成功者を国家官僚たちがたたいてつぶしても

マスコミ洗脳力が強くて大衆からの支持を得られたわけだけど

このマスコミ洗脳力やネットの洗脳力が弱まっていくわけで

となるとこれから 20代とかの若い成功者をつぶしたとしても

「けどこうやってつぶしてたら経済は

イノベーションも何もなくなるからどんどん悪化するよね」

という至極当たり前の指摘が出てくるようになるわけで

徐々に官僚達が若者起業家、投資家をつぶすってことが

しづらくなってくる、したとしても民衆からの反発も

これまでと違って結構出てくるようになると想定されます。

(ちなみに経済面ではトランプ大統領はスモールビジネスオーナーを
応援するという立場です)

そういう意味ではやはりこれからは

個人や中小の若い起業家・投資家の時代ですから

その時代のトレンドをうまーく読んでいくのが大事ですね。

では！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX新案件】

FXで年収3000万円、5000万円はこんなにカンタン！？
99%の人が知らない、FXで稼ぐために必要な「あるモノ」とは？
⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/50/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆